

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 8 月 12 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- 6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- 6/24 12:00 淡水化装置における処理を開始。
- 6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- 7/2 18:00 バッファタンク設置工事完了し、バッファタンクを経由した循環注水冷却を再開。
- 8/1 17:00 頃 第二セシウム吸着装置(SARRY)の水張りおよび通水試験を開始。
- 8/7 16:11 淡水化装置にて発生する濃縮された海水から淡水を作るために水処理設備に追加設置・試運転していた蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- 8/9 1:50 SPT 受入タンクの水位計の電源が停止したため、SPT 廃液排出ポンプおよび SPT 受入水移送ポンプが停止したことから、廃液逆浸透膜供給タンクの水位低警報が発生し、淡水化装置が自動停止。
6:57 SPT 受入タンクの水位計の修復が完了。
9:35 廃液逆浸透膜供給タンクの水位が回復したことから、淡水化装置の運転を再開。
- 8/11 12:25 凝集沈殿設備処理タンクの2系統あるうちの1系統の水位計の不具合により警報が発生し、水処理装置が自動停止。
12:40 もう一方の水位計に切り替え、水処理設備を起動。12:58 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機トレンチ立坑→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・8/10 16:47～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・8/5 8:42～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・8/11 10:00～16:00 移送実施
	・仮設タンク→メガフロート	・8/12 10:00～16:00 移送実施
		・8/9 10:00～ 移送実施中※1

移送先	移送先の水位状況 (8/12 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 5,285mm (水位上昇累計: 6,502mm) 8/11 7:00 から 1mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 3,560mm (水位上昇累計: 4,286mm) 8/11 7:00 から 29mm 上昇

- ※1 8/9 10:00 仮設タンクからメガフロートへの滞留水の移送を開始。
10:12 頃 移送ホースより漏えいを確認したため、移送を停止。
13:35 漏えい箇所の移送ホースの取り替えを実施し、移送を再開。

◇トレンチ立坑・タービン建屋の水位(8/12 7:00 時点)

	トレンチ立坑(グレーチング上面～水面まで)	タービン建屋
1号機	O.P.+850mm (>3150mm) 8/11 7:00 と同じ	O.P.+4,920mm 8/11 7:00 から変化なし
2号機	O.P.+3,587mm (413mm) 8/11 7:00 から 21 mm 下降	O.P.+3,605mm 8/11 7:00 から 18 mm 下降
3号機	O.P.+3,622mm (378mm) 8/11 7:00 から 9 mm 下降	O.P.+3,530mm 8/11 7:00 から 12 mm 下降
4号機	—	O.P.+3,539mm 8/11 7:00 から 11 mm 下降

- ・1号機原子炉建屋水位: 8/12 7:00 O.P.+4,619mm 8/11 7:00 から 5 mm 下降

<放射性物質のモニタリング>

◇海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第二岩沢海岸付近(福島第一から約16km)	8/11	7:40	ND	0.11	ND

※8/11に採取した福島県沿岸3地点、福島県沖合12地点については、全てND。

また、8/9に採取した宮城県沖合6地点及び8/9,10に採取した茨城県沖合5地点についても、全てND。

<使用済燃料プールの冷却>

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	39.5℃(8/12 11:00)
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	38.0℃(8/12 11:00)
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	33.6℃(8/12 11:00)
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	45℃(8/12 11:00)

・8/12 12:12~14:07 4号機使用済燃料プールへ循環冷却ラインを用いてヒドラジンを注入(約2m³)。

<原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況>(8/12 11:00時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中(約3.8m ³ /h)	103.2℃	93.7℃	130.8kPaabs
2号機	淡水注入中(約3.5m ³ /h)	109.5℃	117.0℃	127kPaabs
3号機	淡水注入中(約9.0m ³ /h)	110.5℃	104.7℃	101.5kPaabs

【4号機】【5号機】【6号機】【共用プール】特に変化なし。

<その他>

- ・4/10~ 作業環境改善として遠隔操作による屋外の瓦礫撤去を継続実施中。
- ・6/3~ 港湾関連施設の復旧工事を実施中。
- ・7/12~ 取水路開渠内の止水対策として鋼管矢板設置工事を実施中。
- ・6/28~ 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事实施中。
- 8/10 1号機原子炉建屋カバー鉄骨組立を開始。
- ・8/11 11:20頃 4号機廃棄物処理建屋内の使用済燃料プール循環冷却装置1次系ホースより微量の水の漏えいを確認したため、漏えい箇所に養生を実施。
- ・8/12 3:22頃 福島県沖を震源とするM6.0の地震発生。その後、以下の事象を確認。
 - 3:42 水処理設備蒸発濃縮装置のボイラーの停止を確認したため、ボイラーを再起動し、蒸発濃縮運転を再開。
 - 3:52 1号機の原子炉への注水量が約3.2m³/hに低下していることを確認したため、注水量を約3.9m³/hに調整。なお、1~3号機の原子炉への注水は継続中。
 - 5:06 1号機計装用空気仮設コンプレッサー2台のうち1台の停止を確認。6:44 当該コンプレッサーを再起動できなかったため、バックアップ用のディーゼル駆動のコンプレッサーを起動。なお、1号機の窒素封入に対しては影響なし。
 - 5:27 4号機廃棄物処理建屋内の使用済燃料プール循環冷却装置1次系ホースより微量の水の漏えいを確認(8/11とは異なる箇所)。今後、ホースを交換予定。

以上